

<空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！>

No.13

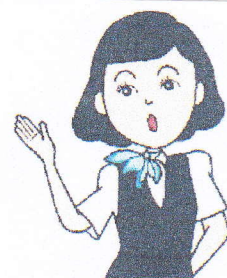
JAL闘争を支える京都の会News

2012.12.30

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX:075-531-3856 E-mail:komai123@kfa.biglobe.ne.jp

JAL闘争を支える京都の会

街宣行動・交流会を行う



2012年は「JAL闘争を支える京都の会」としては三条京阪・三条河原町で街宣行動を行ってきましたが、12年の締めくくりとして、12月2日、稲盛JAL名誉会長の自宅に近い近鉄桃山御陵前駅で街宣行動を行ないました。

また、12月18日にはJR京都駅前での「日本航空の不当解雇をめざす京都支援共闘会議」主催の定例宣伝行動に参加しました。(下の写真はJR京都駅前でビラ配布をするJAL原告団の鈴木さん)

そして、定例宣伝行動のあと、JAL客乗原告団鈴木圭子さんを招いての交流会（主催・JAL闘争を支える京都の会）を開きました。交流会では「京都の会」会長の南勝次郎さんが「資本は新自由主義の流れの中で、闘う労働組合をつぶし、資本が何でもできる世の中を作っていこうとしている。私たちも支援を強化し、共に闘っていきたい。」とあいさつしたあと、JAL客乗原告団の鈴木圭子さんが



JAL闘争の状況報告を行ないました（写真左）。

鈴木さんは「原告団で財政上の理由からアルバイトする人が増えてきている。アルバイトが休めず、宣伝行動に原告団が集まりにくい状況になっている。原告団を財政的に支援するために『JAL闘争を支える会』の会員拡大と会費継続をお願いしたい。」と訴えました。JAL不当解雇撤回闘争は2013年が正念場となります。東京高裁での勝利判決を必ず手にしよう。